

2021 年 1 月 12 日

<報道発表資料>

沖縄セルラー電話株式会社

沖縄アリーナの先端技術導入に沖縄セルラーが協力

～新鋭ソリューションの活用により「超快適・大興奮」のアリーナ体験を実現～

沖縄市（桑江朝千夫市長）が建設を進め、4 月 10 日にプレオープニングイベントの開催を予定している沖縄アリーナ（指定管理者：沖縄アリーナ株式会社 木村達郎代表取締役社長）は、沖縄セルラー電話株式会社（湯浅英雄代表取締役社長）が納品する、先端技術を活用した複数のソリューションを導入します。

沖縄アリーナは、最大収容人数が 1 万人となる屋内施設で、バスケットボールをはじめとしたスポーツ興行に加え、コンサートや MICE など多目的な利用が期待されています。沖縄セルラー電話（株）は、沖縄市、沖縄アリーナ（株）と連携し、ご来場されるお客様が快適にアリーナでお過ごしいただけるよう、LAN 及び Wi-Fi の構築に加え、グループ企業である KDDI 株式会社が提携企業と共に提供する様々なデジタルソリューションを導入いたします。



沖縄セルラーは、au 5G や IoT、ICT など先端テクノロジーを活用したソリューションの提供を通じて、沖縄市、沖縄アリーナ株式会社とともに、ご来場される皆様の快適なアリーナ体験を実現し、沖縄県内のスポーツ、文化、芸能の発展に貢献していきます。詳細は別紙をご参照ください。

【報道機関からのお問い合わせ先】

沖縄セルラー電話株式会社 秘書・広報グループ 大城

TEL (098) 953-3153

<沖縄アリーナに導入される設備の概要>

1. 「OKINAWA ARENA Free Wi-Fi」の設置および場内 LAN（ローカルエリアネットワーク）の構築

最大収容人数である約 1 万人規模の Wi-Fi 利用を想定した無料の Wi-Fi サービス「OKINAWA ARENA Free Wi-Fi」を整備します。Wi-Fi 認証は国内トップクラスの Wi-Fi 運用実績のあるクラウド認証基盤を活用することで、ご来場者様に安心・安全、快適な通信環境を提供します。

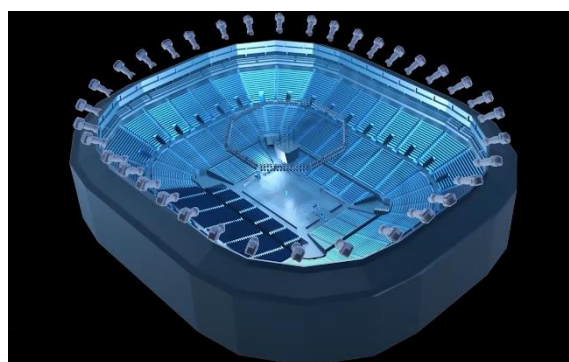
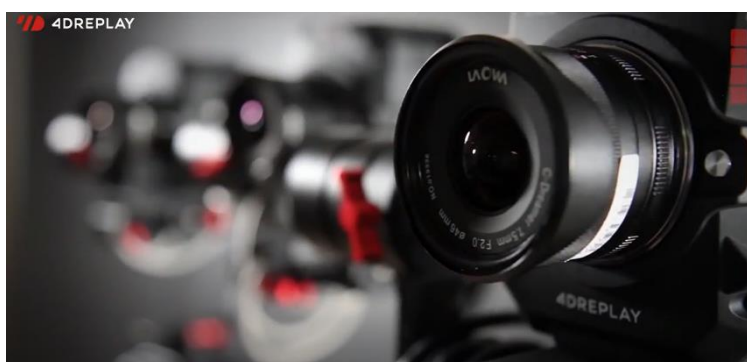
さらに、コンサートの主催者様などによる利用を想定した Wi-Fi 最新規格「Wi-Fi6」を、アリーナ内の一部エリアで導入します。昨今、一層のニーズが高まっている音楽コンサートのライブ配信での活用や、XR 技術を用いた新たなライブ演出など「ライブイベントの新しい魅せ方」を可能とし、付加価値創出に繋げることで、施設および指定管理者様をバックアップします。

2. 多目的アリーナでは国内初の常設となる自由視点映像システム「4DREPLAY」の設置

自由視点映像システム「4DREPLAY」は、独自の技術であるタイムスライス方式（※1）を採用し、最新のアルゴリズムを組み合わせることで高速での映像処理を行い、短い時間で迫力あるリプレー映像を生成するシステムです。

沖縄アリーナでは、アリーナ面を 360°取り囲むように 60 台の 4K カメラを設置し、生成した映像を 510 インチのメガビジョンやテレビ・インターネットでのライブ中継、スマートデバイスなどに送出し、かつてない映像体験を提供します。なお、多目的アリーナへの同システムの常設は国内初となります。

（※1）アレー状に設置された数十台のカメラをシンクロさせて撮影した映像により、任意の時間を切り取って、様々なカメラアングルで映像を再生する技術



参考 URL: <https://www.4dreplay.com/4dreplay>

3. ライブ配信に適したリモートカメラ（4K インテグレートッドカメラ）の設置

今後のライブイベントは、新型コロナウイルスを契機に、会場でのイベント参加に加え、オンラインによるライブ配信の重要性がより一層高まるものと想定されます。また、会場で撮影などに携わる映像制作スタッフの省人化、リモート化なども新たな課題となっています。

そのような状況に対応するため、リモートで操作が可能な可搬型の無人カメラを4台（※2）設置します。これによって、バスケットボールなどのスポーツイベントの映像制作において撮影スタッフの人数を増やすことなく、より様々な角度から撮影をすることで豊かな映像コンテンツが生成できるようになります。

また同カメラはAR技術を組み合わせることで「リモート・ARライブ配信システム」（※3）としての活用が可能となり、音楽コンサートなどにおいて、撮影している映像にARによる表現豊かな演出を加えたライブ配信が可能になります。

（※2）沖縄アリーナ本体に常設される無人カメラ（4台）とあわせると計8台が設置されます。

（※3）参考URL：<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2020/08/12/4614.html>

参考画像：「GLIM SPANKY/SPACE SHOWER SWEET LOVE SHARE supported by au 5G LIVE」



4. 屋内デジタルマップサービス「Mappedin」を活用したウェブブラウザ上でのナビゲーションサービス

はじめて沖縄アリーナをご来場される方でも、ご自身の座席セクションやトイレ、売店などに迷わずたどり着けるよう、アリーナ内におけるルート案内を実施する屋内デジタルマップサービスを導入します。カナダを拠点としてグローバルに屋内デジタルマップサービスを提供するMappedin（※4）を国内の多目的アリーナにおいて初導入し、次頁にて記載している混雑可視化情報と組み合わせることで、さらに快適なサービスをお届けいたします。

（※4）株式会社ゼンリンデータコムが、Mappedinの日本国内のパートナーとして提供しています。





5. ネットワークカメラ及び Bluetooth 技術などを活用したトイレ及び売店の混雑可視化

ご来場される方々の快適なアリーナ体験を実現するために、各階のトイレおよび売店の混雑状況を測定・可視化するサービスを導入いたします。これらの情報は、前頁に記載したナビゲーションと連動させることで、来場者をご自身のスマホ上で手軽に確認でき、混雑が緩和されている時間帯のご利用などを促進することが可能となります。トイレに関しては、各個室の外側にマグネットセンサーを取り付けることで空き状況を測定。さらにアリーナ内の飲食売店などでも場内に設置したカメラで行列を検知し、混雑の状況をリアルタイムで測定します。

